

黄金堂境内案内図

⑦佛足石

年代：1847年（江戸時代）

お釈迦様の足跡を刻んだもので、その中には32相が刻まれる。全国的に見ても爪のあるのが珍しい。

⑥地藏菩薩

六地藏は地獄道・餓鬼道・人間道・天上道の六道を表す。六道とは衆生が生存中の行為の善悪の結果赴く6つの世界。その六道に苦しむ衆生を教化救済する菩薩。本来6体だが、他所から移設合祀され、現在10体。

⑤南無阿弥陀仏念佛車（鶴岡市指定文化財）

年代：1783年（江戸時代）

念佛車→六角形の車輪の各辺に「南無阿弥陀仏」の六文字が彫られており、念仏を唱えながら廻すと一回転ごとにお経一卷分の功德があるとされている。現在車輪は無い。

④称願上人名号塔（鶴岡市指定文化財）

年代：1826年（江戸時代）

称願上人は文政から天保4年ころ迄庄内の全域を巡り布教に勤め、諸所に幾多の名号塔を残している。旧最上家の家臣か。

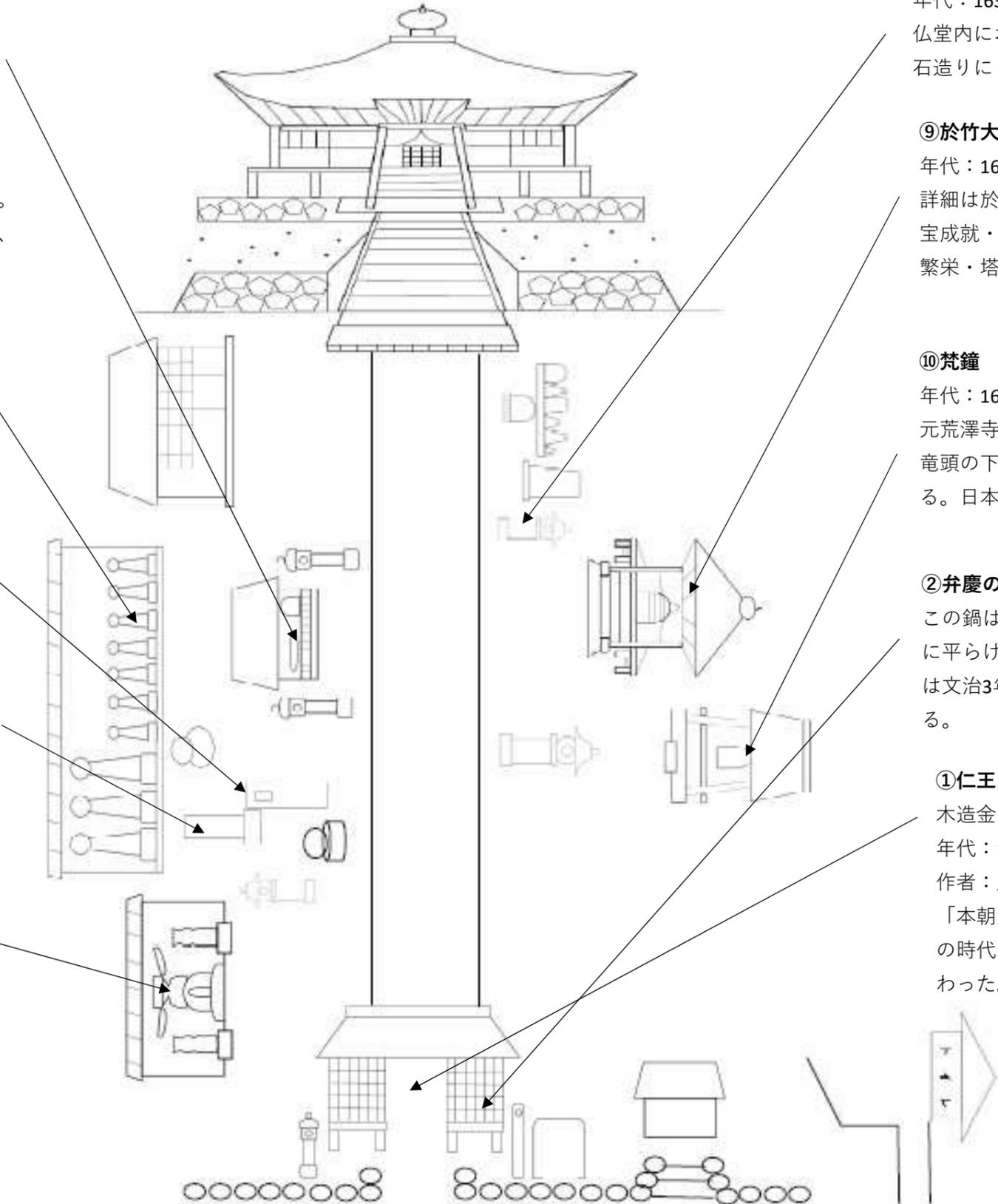
③閻魔大王・書記官（鶴岡市指定文化財）

年代：江戸時代初期

権大僧都阿闍梨 喜楽院 裕仙

継子坂に三軀を建立（1661年～1681年 本坊に寄食）

自分は小野寺入道尊長の次男で下条源七郎豊雅というものであるが、今は出家して法印権大僧都阿闍梨裕仙と呼ばれていると刻み込んだ石柱が現存する。旧最上家の家臣と推測される。



⑧石造 六面幢（鶴岡市指定文化財）

年代：1631年（江戸時代）

仏堂内における幢（はた）で、六角形や八角形の布を垂れる旗を石造りにしたもの。

⑨於竹大日堂

年代：1666年（江戸時代）

詳細は於竹大日如来の御縁起を参照。女性守護・良縁成就・子宝成就・安産満足・女性疾患平癒・社内安全・社員安全・事業繁栄・塔婆供養。

⑩梵鐘

年代：1699年（江戸時代）

元荒澤寺常火堂の梵鐘である。鐘の四方に仏像が打ち出して有り、竜頭の下に穴を開け、イボが無く口の周りに唐草模様の浮彫が有る。日本に二つしか無い朝鮮式の鐘。

②弁慶の粕鍋（鶴岡市指定文化財）

この鍋は弁慶が戦陣に挑む際に背負って行き、粕汁を煮て一食に平らげてしまったと言う伝説がある。「羽黒山歴史年表」には文治3年（1187年）、源義経が羽黒山に代参させると記録が有る。

①仁王門（山形県指定文化財）

木造金剛力士像 材料：ひのき

年代：1633年（江戸時代）

作者：康音（こうおん）

「本朝大仏師正統系図」に記録されている23代の仏師康音。この時代を代表する名工で日光東照宮や比叡山延暦寺の造仏に携わった。